

Point

12

ビューアーで見せる

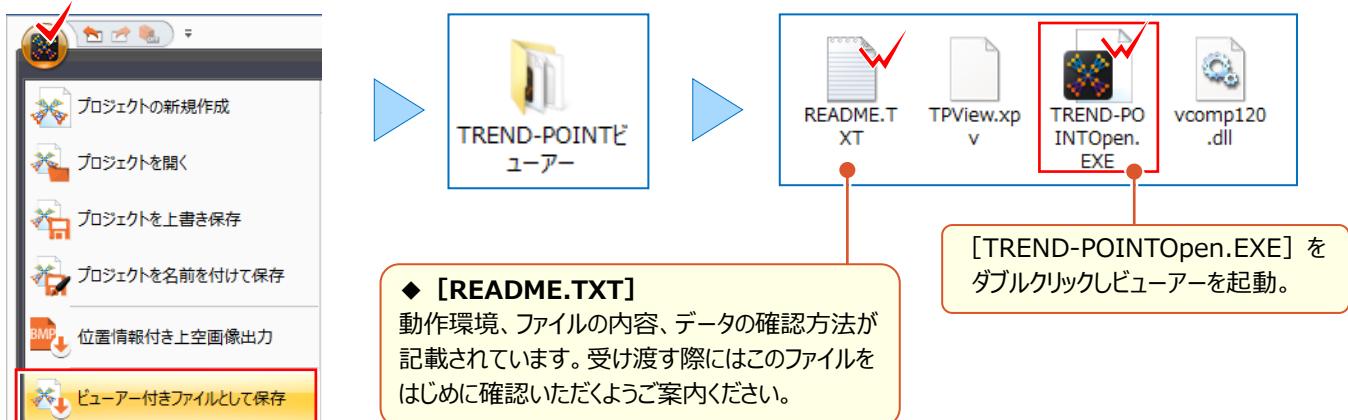
TREND-POINT では、専用ソフトを所有していない発注者や関係者に配布し、データの閲覧を可能にするビューアーファイルを出力することができます。平面図と写真での打合せより、様々な情報から状況の確認ができるため、災害査定時などでもスムーズな協議が可能になります。

12-1 TREND-POINT ビューアー

『ビューアーファイルを渡すことになったんだけど、閲覧って簡単なの？ファイルと一緒に渡せる簡単な説明書ないかな…。』もちろんあります、説明書！受け渡すフォルダー内にある【README.TXT】を開くだけ。閲覧方法が確認できます。

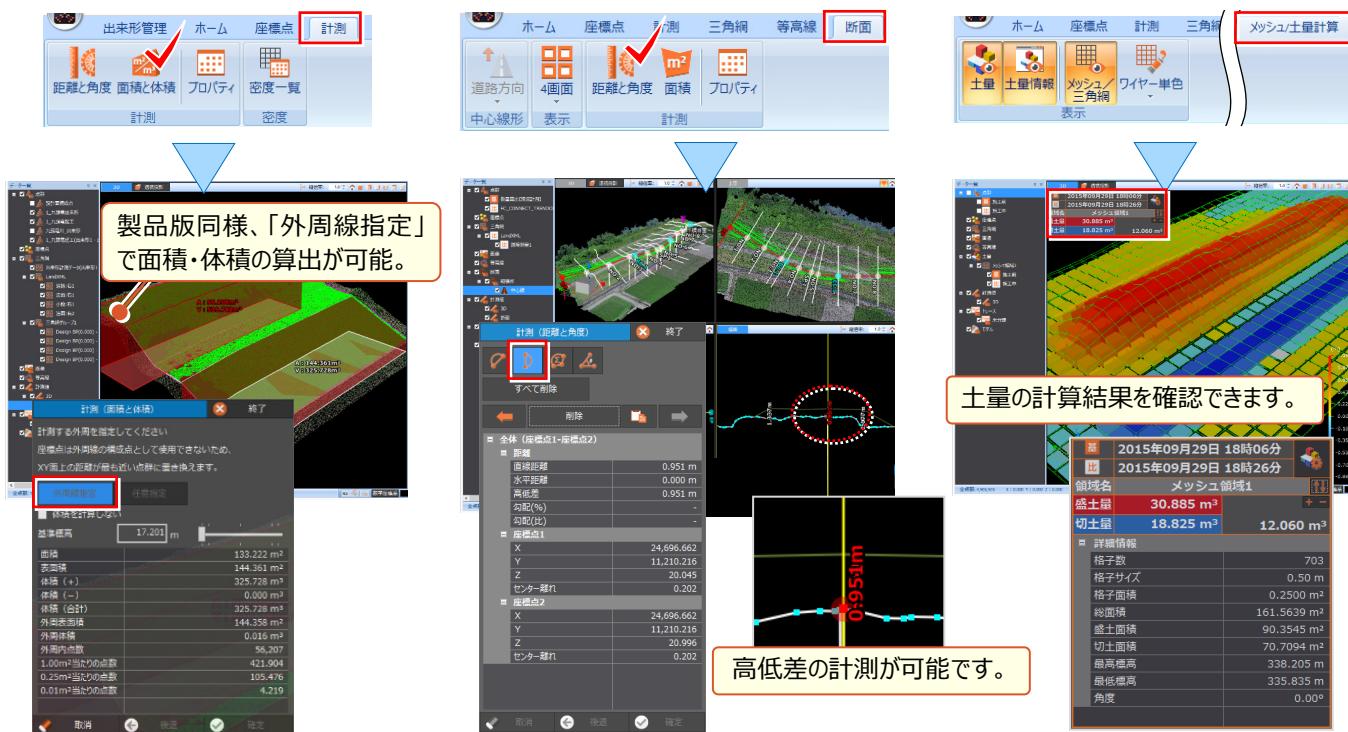
■ ビューアー起動と動作確認

〔TREND-POINT〕ボタンより、「ビューアー付きファイルとして保存」を選択。出力された「TREND-POINT ビューアー」フォルダーを開き、4つのファイルを確認します。〔README.TXT〕をダブルクリックし、動作環境や閲覧方法を確認。確認後は、〔TREND-POINTOpen.EXE〕をダブルクリックし、ビューアーを起動しましょう。



■ データ閲覧

TREND-POINT 製品版で出力したデータを確認します。点群データの表示だけでなく、距離や体積の計測、断面形状や土量の確認までおこなうことが可能です。



A yellow lightbulb icon with a black outline and a small vertical line inside, representing an idea or memo.

Memo

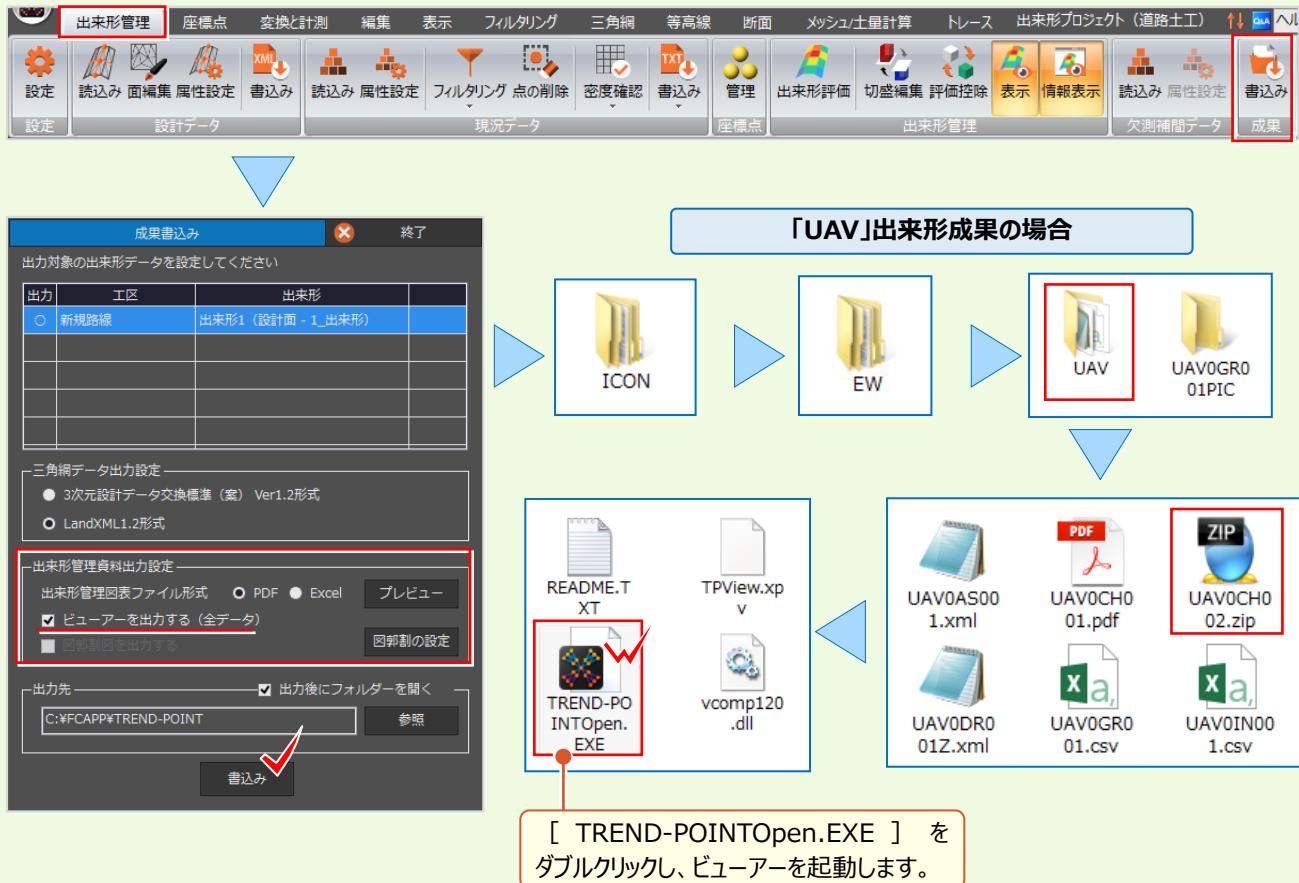
■ i-Construction における電子納品データのビューアーについて

i-Construction における出来形成果として出力するフォルダーに、「TREND-POINT ビューアー」を格納することができます。

ここでは、出力方法と、TREND-POINT ビューアーが格納されるフォルダー構成について確認しましょう。

■ ■ ■ 出力方法と出力データフォルダー ■ ■ ■

i-Construction における出来形成果は、[出来形管理] タブより [成果－書き込み] で出力します。



■ ■ ビューアーを起動し、データの確認 ■ ■

TREND-POINT で出力したデータが表示され、出来形管理情報をはじめとした様々な情報が確認できます。

